

畜産 FAX 情報 第6号

令和8年8月1日
発行: ゆとりみらい 21 推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

1. 倒伏した牧草は速やかに収穫を！



☑ 【重要な茎の確保】

チモシー草地では、未出穂の2番草の茎が来年の1番草の茎になります。

☑ 【裸地化のリスク】

今、倒伏で腐敗すると株が死んで裸地が増え、来年の1番草がさらに減収します。

☑ 【品質低下の防止】

下葉の腐敗による嗜好性・栄養価の低下を防ぎ、土砂や糞尿の混入(酪酸発酵の原因)をシャットアウトします。

おすすめ(今、やるべきこと)

⇒ 収穫の段取りを前倒しし、『倒伏放置』をなくしましょう。

2. 追播の準備をお早めに！



☑ 【雑草対策】

チモシー草地の裸地が確実に増加中。何もしないと雑草の温床に！

☑ 【タイムリミットは8月中】

追播に適する草種(オーチャードグラスやフェストロリウム)は、9月に入ると定着率が大きく低下します。

※ チモシーは定着率が極端に低いため、追播には推奨しません。

☑ 【播種量と追播機】

目安は2.0kg/10a(単体、もしくはオーチャードグラス:フェストロリウム=4:1混播)。

追播機は、適切な鎮圧が正確に調整できる作溝タイプ(コントラ等所有)が好成績です。

おすすめ(今、やるべきこと)

⇒ 追播する草地の選定、種子の確保、そして追播機やコントラへの予約・手配を速やかに開始してください。

今の草地管理が、来年の自給飼料の『質』と『量』を決めます。
状況に合わせた攻めの管理を！